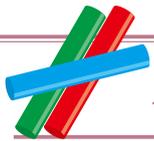


# 緑丘さっぽろ

第114号 ■ 令和5年1月1日  
編集 ■ 緑丘会札幌支部総務広報部会  
札幌市中央区北5条西5丁目 sapporo55 3F  
<http://www.ryokyukai.com/>  
E-mail: ryokyukai@galaxy.ocn.ne.jp  
印刷 ■ 岩橋印刷株式会社



魚達(さかなたち)  
鈴木 市男(昭和32年卒)



## 巻頭リレーエッセイ

### 卒業生と現役学生を繋ぐサークル結成

小樽商科大学を卒業後、有難いことにそのまま事務職員として働かせていただき、早いもので13年が経とうとしています。

先日、卒業生のみなさまと現役学生の方々との繋がりを強めることを目的とした『緑丘会サークル(名称仮)』が立ち上がり、私もOBの一人として、こちらのサークルの活動をサポートすることとなりました。今年の秋頃には、小樽商科大学内にOB・OGのみなさまを集め、ホームカミングパーティーを開催することを計画しています。

学生自らが「卒業生との繋がりを強めたい」という想いで活動してくれていることを、卒業生としても大学職員としても嬉しく感じています。これからの彼ら・彼女らの活躍に是非ご期待ください！

高山 慎太郎  
(平成22年卒)



## 先輩への「恩返し」、 後輩への「恩送り」

緑丘会札幌支部  
支部長

平塚 彰  
(昭和57年卒)



令和5年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。札幌支部会員の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症第八波の影響が懸念される中、例年とは異なり幾分静かな年末年始をお迎えになられたことと推察いたします。また日頃より緑丘会札幌支部の活動に対しまして、一方ならぬご支援、ご協力を賜り厚く御礼を申し上げる次第です。

さて、こうしたコロナ禍の中、心配なのは若い同窓生が緑丘会から遠のいていくことです。特に同窓としての「意識づけ」の場でもある卒業式直後の祝賀会ですが、2年も開催できていないことが大いに気になるどころです。大学時代に緑丘会の支援を受けた卒業生が、先輩への「恩返し」、後輩への「恩送り」として卒業後緑丘会活動に参加する。私が支部長を拝命して第一の課題として挙げたのが、この恩返し、恩送りの正のスパイラルを構築するということでした。昨年は小樽支部の皆さんと6月の緑丘祭に緑丘会として出展しまして、在学生、保護者の方々に対し声かけをし、認知度向上に努めました。

またコロナ禍により新入生の勧誘が上手くいかず部活・サークル活動が低迷しているとの話も伺いました。部活・サークルはいわば社会の縮図です。先輩との交流で上下関係を学び、先輩の後輩を思う真情に触れる機会が少なくなると、言わば緑丘会活動の「原点」が損なわれてしまうのではないかと大いに懸念しているところではあります。

皆さんの周りに、職場やお取引先などに若い同窓生はいないでしょうか？ 彼らはリモートワークなどコロナ禍による働き方改革の真っただ中です。世界情勢に目を向けてもロシアのウクライナ侵攻、円安による物価高、米中対立の激化など世界の動向も予断を許しません。誰だって不安になります。皆さんの周りに先輩の「救いの手」が必要な同窓生はいないでしょうか？ 後輩と接するチャンスを逃さず、是非とも彼らの心の内に耳を傾けて頂けないでしょうか。私は常に周りに同窓生がいなくても目を光らせ、心の中では多くの先輩の方々への「恩返し」であり、後輩への「恩送り」と肝に銘じています。

令和5年は十干・十二支に言う「癸卯（みずのと・う）」の年となります。「癸」と「卯」の組み合わせから、「これまでの努力が花開き、実り始めること」といった縁起の良い年とのことです。うさぎのように跳ね上がるよい1年になることを強く願っています。

最後に札幌支部会員の皆様のご健勝と令和5年が実り多き素晴らしい年となりますよう祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。



# 新しいビジョン2030

小樽商科大学長  
穴 沢 眞



新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。OB・OGの皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

2022年に本学は帯広畜産大学、北見工業大学と経営統合を果たし、新たに国立大学法人、北海道国立大学機構を創設しました。統合後は機構内に設置された教育イノベーションセンターとオープンイノベーションセンターを中心として三大学が協力しての教育、研究を進めています。特に教育においては三大学で相互配信する科目は合計で31科目となり、延べ6,000人以上の学生が履修しました。

2022年はまた国立大学にとって6年間にわたる第4期中期目標・中期計画の最初の年となりました。機構として教育、研究面で今後6年間の目標を立て、それに向けて邁進しています。これと並行して本学では2022年に「新しいビジョン2030」を策定いたしました。機構の一員としての新たな船出の年にSDGsの目標年でもある2030年に向け、本学としてのビジョンを提示しました。これまで、6年ごとにビジョンを策定していましたが、今回はより長期の観点からビジョンを策定することとしました。以下ではその概要をお示しします。

「新しいビジョン2030」は大きく分けて3つのパートからなります。それらは「教育ビジョン2030」、「研究ビジョン2030」、「社会貢献ビジョン2030」です。まず、「教育ビジョン2030」では三大学経営統合とともに開始したアントレプレナーシップ副専攻の拡充、多様な地域課題解決型教育プロジェクトの展開、そして、学部でのカリキュラム改革を含みます。カリキュラム改革では後述するユニバーサル・ユニバーシティ構想とも関連して、夜間主コースの改革、データサイエンス教育の体系化の見直しなどが予定されています。

「研究ビジョン2030」では現行のグローバル戦略推進センターを中心とした地域研究のみならず、国内外の大学との研究の連携を強化していきます。2022年には九州大学共創学部と包括連携協定を締結し、教員の相互派遣や学生交流を進めます。また、小樽市の姉妹都市であるニュージーランドのダニーデン市にあるオタゴ大学との研究面での連携も進めていきます。その他にも本学は各国の有力大学と協定を結んでおり、今後、研究面での連携を強化していきたいと思ひます。また、これらを大学院教育にも結び付けたいと思ひます。

「社会貢献ビジョン2030」の中心はユニバーサル・ユニバーシティ構想となります。本構想は進学支援型プラットフォーム、教育支援型プラットフォーム、リカレント型教育プラットフォームの3つからなります。それぞれ、地方自治体・高校・企業と連携した地元にながら本学の夜間主コースに進学するもの、オンラインを活用してこれまで高等教育に触れる機会が少なかった地域の方々に本学の教育に触れてもらうもの、そして、社会人の学び直しの需要にこたえる地域や、業界などのニーズに合わせたリカレント教育の開発となります。

今後も新しい試みを通じて各地域、北海道、日本そして世界で活躍できる人材の育成、それを支える研究活動に邁進したいと思ひます。皆様のご支援、よろしくお願いたします。

# 昭和32年卒「米寿の会」

檜原隆司  
(昭和32年卒)



記念大会第16回は令和4年9月20日に小樽オーセントホテルで開催された。初め昨年5月数え齢で実施する予定でいたが、コロナで延びること二度、三度目で強行実施した。

最終回ということで、名簿に残っている全員に案内することにした。卒後65年経過、180名の同級生のうち、死亡101名、消息不明16名、健在者63名、当日の参加者は12名と激減した。実質参加者は高橋会員の長女が紅一点華を添え13名であった。

我々の同期会は結束が堅く、交流が盛んと自負しているが、これは幹事3氏の並々ならぬ尽力に負うものである。中本毅彦、檜原隆司(札幌)、市川健(東京)の3氏に対し、会の冒頭実行委員長から深甚の謝意が示された。

また緑丘会の諸活動に多大の貢献をされた5氏、即ち札幌支部長として緑丘会の屋台骨を長年支えた横井久氏、本部理事長の重責を荷った石川哲郎氏と篠崎義彦氏、事務局長の故小塚邦夫氏、そして100周年募金に当り最高額を寄付され誇らしい想いをさせてくれた清水卓治氏に対し、敬意と感謝の拍手が贈られた。

会は参加者全員のテーブルスピーチにより大いに盛り上がった。マスコミや産業界で活躍した物故者も生き生きと登場し、思い出は尽きることがなかった。閉会に当り校歌を斉唱、非公式であるが2年後に有志による「卒寿の会」を満場一致で決議、再会を約した。今回不参加の諸氏が、次回はぜひ参加されるよう心から期待する。

なお今回は最終回に当り全員に案内を送り、欠席者からも「近況コメント」を記してもらったので、返信ハガキをくれた皆の様子が分かり、多くのメンバーが参加を切望しながらも体調を崩していたり、配偶者を亡くしてご苦労されている状況に、齢を痛感する。人生100年時代に相応しく、健康維持に努め長寿を全うすることを願う次第である。

実行委員長 中村典雄

出席者 (東京) 市川健、清水卓治、高橋武一  
(札幌) 岡本守衛、檜原隆司、近藤邦寿、  
柴田哲治、中村典雄、長崎秀孝、  
横井久、吉田克己、冷泉豊彦  
(特別参加) 三田清美

# 庭球部創部111周年記念全国OB・OG テニス大会と記念祝賀会

北海道緑庭会幹事長  
研 谷 敦  
(平成7年卒)

令和4年9月24日(土)、小樽商科大学庭球部は創部111周年を記念して全国OB・OGテニス大会と祝賀会を開催しました。

緑丘テニスコートで行われたテニス大会は、前日から降り続いていた雨も開会の10時に合わせるように快晴となり、全国各地から集結したOB・OG 33名と現役学生27名、総勢60名で紅白に分かれ真剣かつ紳士的な熱戦が繰り広げられました。結果は昭和36年卒の西尾捷三さん率いる紅組の8勝に対し、昭和36年卒の川口祐二さん率いる白組は11勝し、白組の勝利となりました。

テニス大会終了後、場所をニュー三幸小樽本店へ移し、記念祝賀会を開催。来賓に小樽商科大学穴沢眞学長、庭球部鈴木将史部長をお招きし、OB・OG 49名、現役学生12名、総勢63名が集まり、1911年の大学創立と同時に創部した庭球部の111年の歴史を振り返りながら会場一体となってお祝いしました。冒頭、平成2年卒の谷口晶彦実行委員長の挨拶に続き、穴沢学長からご祝辞を頂戴し、鈴木部長の祝杯で会は始まりました。たくさんのOB・OGから熱く心温まるスピーチが披露され、現役応援団からの激励などもあり大いに盛り上がりました。

また、現役学生は今年、全国学生王座決定試合北

海道予選において女子は3部リーグ優勝2部昇格を決め、男子においては昨年に続き1部リーグで北海道二連覇を果たしましたので、祝賀会の中で全国王座1勝を祈念し壮行会も行いました。参加した現役学生からは1人ずつ力強い決意表明があり、過去に達成したことのない全国1勝を成し遂げてくれるのではないかと期待が高まりました(全国王座の結果は残念ながら関西の強豪校、関西学院大学に初戦敗退となりました)。

会の終盤では、全国OB・OG会結成準備委員会で全国緑庭会の立ち上げに多大なるご尽力をいただいた昭和48年卒の濱田光久さんのご発声で乾杯を行い、最後は関東緑庭会の昭和61年卒吉田理宏会長に締めていただき祝賀会はお開きとなりました。

今回の祝賀会はコロナ禍にも関わらず、多くのOB・OGに参加いただきました。9年後には、創部120周年記念を更に盛大に開催できればと思います。

【緑庭会の活動内容は公式HPをご覧ください】

<https://ryokuteikai.com/>

2022.11.24 記



全国OB・OGテニス大会 於 緑丘テニスコート



記念祝賀会 於 小樽ニュー三幸

ようこそ札幌支部へ

# 札幌に帰ってきました

4年ぶりに地元、札幌に帰ってきました。

平成25年に商大を卒業し、札幌市役所で約5年間勤務したあと、東京の商社で約4年間、主に人事労務の仕事に携わっていました。札幌で生まれ育った私にとって、初めての東京生活はとても新鮮で、仕事でもプライベートでも新しい経験ばかりの日々でした。約4年間という短い期間ですが、慣れた環境の外に身を置くことは、視野を広げる良い機会になりました。

視野が広がったことで新たな目標も見つかり、挑戦の舞台を求めているときに、縁あってみらいコンサルティングに入社しました。国内外に多くの拠点をもつ同社ですが、地元貢献したい想いもあり、札幌支社への配属としてもらいました。「地方にいたら首都圏のようなビジネスはできないのではないかな？」と言われることもありますが、新型コロナウイルスの影響や世の中のDXの潮流により、私たちの働く場所の概念は大きく変わりました。今は北海道の地方創生を推し進めると同時に、全国各地の企業のコンサルティングもしています。IPO（新規株式公開）を目指す上場準備企業の人事労務に関する支援も多く行っており、新進気鋭の企業や大規模なビジネスとの関わりも多くあります。日々、仲間やお客さまと相互に成長しながら活動しています。

気がつけば社会人も10年生、間もなく商大を卒業して10年経ちますが、学生時代に楽しい時間を共にした友人との縁は今も続いています。特によさこいソーランサークル翔楽舞では多くの仲間と巡り合うことができました。今となっては活躍の舞台はそ

みらいコンサルティンググループ  
コンサルタント(社会保険労務士)

島 幹 人  
(平成25年卒)



れぞれ違い、学生時代のように毎日飲み明かすことはできませんが、それでもたまに顔を合わせ、昔話やお互いの近況を語り合える大切な仲間です。立ち上がったばかりのサークルで、法被を着て大通公園で踊り駆け抜けたことも、各地のお祭りで演舞したことも、雪明かりの路や小樽市内でのボランティア活動も、今ではとても良い思い出です。

所属していた佐野ゼミでは、毎週仲間たちと真剣な議論を交わし、また、ことあるごとに佐野先生にピザをご馳走になるなど、楽しみながら多くのことを学ぶことができました。

さて、緑丘会活動にはこれまであまり関わる機会がなかったのですが、札幌に帰るタイミングで、副支部長の八十島さんから支部のセミナーに誘っていただき、皆様と顔を合わせることができました。とても良い雰囲気迎え入れてくださり、所属や世代を超えた商大生の絆の強さを感じました。

今後は皆様と協力しながら、支部の活動を盛り上げていきたいと思っています。

何卒よろしく願いいたします。



# 支部活動2022

今年度の活動をご紹介します。

6/25(土)  
6/26(日)

## 第70回緑丘祭

3年ぶりの対面開催となり、緑丘会もブースを設置して初参加。小樽支部と共に、学生や保護者の方に同窓会活動を紹介しました。

写真①



1

7/23(土)

## 年次大会

2020、2021年は中止を余儀なくされましたが、ようやく同窓が集う場を持つことができました。徹底した感染症対策のもと、総会、高野宏康先生の講演、懇親会と交流を深めました。

写真②③



2

8/15(月)

## 緑丘戦没者慰霊祭

戦火に散った学生・教職員の御霊を慰めるべく、昭和44年に大学研究棟前に戦没者慰霊塔が建立されました。毎年終戦記念日には、ご遺族や緑丘会関係者、教職員、学生らが列席して慰霊祭が執り行われます。写真④



3

4/9(土)  
9/3(土)  
12/17(土)

## オンラインセミナー

「等身大の商大卒業生の今」を語る場として2021年8月よりスタート。20～30代の卒業生を講師に招き、Zoomまたは会場聴講で参加。講演後の質疑応答では同窓ならではの内輪話もあり、若手のご縁を繋ぐ機会にもなっています。

第4回 藤田龍之介氏 (平成26年卒)

「25歳で起業とその後」

第5回 小島弘照氏 (平成23年卒) 写真⑤

「キャリア形成と家族時間との両立」

第6回 島幹人氏 (平成25年卒)

「VUCA時代の働き方とリカレント教育」



4



5

4/30(土)  
7/30(土)  
10/29(土)

## 商大演芸の会

2021年10月に有志が企画。今年度は3回開催されました。落語や弾き語り、外郎売やクイズなど、一芸を持つ同窓が出演して皆様を笑顔にします。次回は2023年2月25日(土)に開催。演者として登壇される方を自薦他薦問わず募集中です！

写真⑥ 茶会家樂志こと酒井秀和氏 (平成9年卒)



6

# OBS MBA会に関するお知らせ

須川 正 啓

(平成18年商学部卒、平成26年OBS修了)

ションを行いました。終了後の懇親会でも、現役生と修了生との交流、久々に会う修了生同士の近況報告など、ご参加いただいた皆さんの熱いエネルギーにより大盛会となりました。ありがとうございました。

OBSは来年20周年という大きな節目を迎えます。OBSとMBA会が連携し交流会等の記念行事を予定しております。引き続き、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

## 1 新体制のお知らせ

2022年度の役員選任（第17期）について、令和4年6月6日に開催されたMBA会定時総会にて承認されましたのでお知らせいたします。

会長	井馬 智行	13期
副会長	三上 淳	14期
幹事	椎名 希美	10期
	奥山 恵理	14期
事務局	河崎 智之	7期
	須川 正啓	9期
	宇井 雅彦	11期
監査	井上 晋一	2期

## 2 2022年度MBA交流会ご報告

- ◆日時：令和4年11月27日（日）15:00～19:00
- ◆場所：HOKKAIDO×Station01（札幌市中央区北5条西5丁目）
- ◆参加者：OBS教員、修了生、現役生 およそ40名

例年、秋に「MBA交流会」を開催しておりましたが、新型コロナウイルスの流行状況等を考慮したこともあり、3年ぶりの「リアル開催」となりました。

前半は旗本専攻長からOBSのビジョン、戦略、近況報告についてお話いただきました。後半は今話題の「DX」をテーマに参加者を7つのグループに分けてディスカッ



## 令和4年度 エバーグリーン講座 日程

講演月日	講師氏名	卒年	講演テーマ	現職等
1 9月28日	緑丘会：永井事務局長 実行委員会：小椋委員長 担当教員：大津 晶		緑丘会とエバーグリーン講座について	
2 10月5日	佐藤 等	S59	卒業50周年(昭和47年卒) 記念講演 ドロッカーに学ぶ人間学 ～これからの社会・組織・個人の在り方について～	ドロッカー学会理事 公認会計士
3 10月12日	立花 保昭	H2	自らを進化・成長させる手法 ～日本企業の働き方改革支援を通じて得たもの～	ココヨ株式会社ファニチャー事業部 ワークスタイルコンサルタント
4 10月19日	小澤真由子	H11	本当のDX 実現のために必要なものは？ ～ DEI を企業カルチャー、個人のキャリアから考える ～	グーグル・クラウド・ジャパン パートナーマネージャー
5 10月26日	河田 寛史	H14	やりたい事を仕事にする ～官民パラレルスタンスで取り組む地域づくり～	一般社団法人石狩シェアビシティ計画 事務局長
6 11月2日	小川 耕平	H26	弁護士への道	諏訪・高橋法律事務所 弁護士
7 11月9日	久住奈水子	S62	ライフシフト ～好きなことを仕事にして人と人をつなぐ～	全国通訳案内士・通訳者・ 英語非常勤講師
8 11月16日	菊地 圭児	H13	向かい風を受けてこそ飛躍する ～空港運営会社&過去の経験業界もご紹介～*ZOOM講義*	北海道エアポート株式会社 帯広空港事業所
9 11月30日	岡崎 俊次	H7	海外へチャレンジしてみよう *ZOOM講義*	Cosfa International Trading 総経理（中国広州）
10 12月7日	三宅 英彦	H6	会計士の業務と、その可能性	養和監査法人 札幌事務所 代表社員・公認会計士
11 12月14日	土方 直子	S63	思いがけない道の先にまっていたもの ～「偶然」をチャンスに変える生き方～	兵庫大学 講師
12 12月21日	野際 斉	S63	地域金融機関の実態とこれからの役割	北洋銀行 常務執行役員監査部長
13 1月11日	福井 慎二	S55	職業としての「NHKアナウンサー」	NHK文化センター講師 元NHKアナウンサー
14 1月18日	椎名 希美	H27 OBS	楽しく生きるためのアントレプレナーカ	北海道大学産学地域協働推進機構 特任講師
15 1月25日	山田 二郎	S45	体験 起業家精神その2	シーズ・アグリ株式会社

## 大会遠征RUN!

三宅英彦

(平成6年卒 緑丘RUNNERS)

皆さまご無沙汰しております。11月23日「いわて盛岡マラソン」、11月30日「帯広ハーフマラソン」に大学・高校の同窓とも交流しながらとても楽しいラン活をしましたので、ご報告いたします。

いわて盛岡マラソンは、同期の土合君と春に大会に出ます!と約束し有言実行でエントリー。土合君の現地のランチーム(ビールの飲み仲間とも言う)と交流させてもらいながら、楽しく走ってきました。前夜祭の「与一」(是非一度行って欲しい週末日中の出店)に初めて行き、その後高校の後輩も合流し決起集会。大会は皆さまのお力も借りながら、何とか完走出来ました。エイドの南部煎餅はちょっと喉につまりましたが(笑)。

帯広ハーフマラソンは、何年か前にも一緒に走った、安田君や長谷川さん、高校の先輩と一緒に走ってきました。現地の菊地君にも応援してもらい、自然溢れるコースを堪能。前週にフルマラソンを走った効果もあったのか、体力的には比較的楽に走ることが出来たように思います。

ランニングはやっぱり良いですね。盛岡では初対面の方が多く、すぐに打ち解け旧交を温めるが如く交流できましたし、道内・道外問わず大会に行けば必ず誰かと走ることが出来る。これからも、どんどん大会に出たいと思います。またのご報告をお楽しみに!



## 商大での相撲サークル復活のために!

八十島 忍

(平成5年卒)

私は在学中の平成3年に相撲サークルを創設しました。北大戦は毎年勝ち、国技館でも戦い、Cリーグで映画「しこふんじゃった」のモデルの立教大を決勝で破り、新聞も多数発行し、卒業式で学長から表彰されました。

昨年、相撲サークルを復活させたい!と思い立ち、かつて練習していた札幌市中央体育館へ行ってみました。そこには昔の仲間や北大相撲部員らがおり、まずは自ら相撲を取ろう!とまわしを締めて土俵に上がっていると、後日、伝え聞いた江頭副学長がゼミ生で柔道部主将、3年の泉澤慎之介君を私に紹介してくれ、北大生らと一緒に練習し、翌週、5月29日の全国国公立大会も誘われ参加しました。泉澤君は連合チームの大將で団体戦と個人戦も戦い、半分位勝ち「相撲は楽しい!来春、相撲仲間を集めたい」と強く宣言してくれました。

私も刺激を受け、24年振りに国体予選を皮切りに5試合に出場。団体で銅2つ、個人で金、銀、銅のメダルを頂き、札幌市民大会では平成3年以来の優勝でした。

道内大学で相撲部があるのは北大だけで、予選なしで国技館や全国大会へ行けます。今春、新入生に大々的に声を掛けますが、皆様方のお知り合いに、相撲に少しでも関心のある商大生がいましたら、ぜひ、ご紹介ください。一緒に練習し、国技館へ連れて行きたいです。

相撲サークルについては、大学HPのブログ「商大くんが行く!」でも取り上げられています。

[https://www.otaru-uc.ac.jp/shoudai\\_blog/245906/](https://www.otaru-uc.ac.jp/shoudai_blog/245906/)



同窓のみなさんからお寄せいただいたお写真や絵などを近況とともにご紹介させていただきます

みてみて

## わたしの 1 枚



### 美しい忍路湾

父とのドライブでお気に入りの場所に

昨年の夏、父の希望で忍路湾までドライブしました。ひっそりとした小さな港はとても美しく、エメラルドグリーンに輝く海は透明度が高く、海底まで見えるほど。

対岸に建つ赤い屋根の古い建物を目にしたとき、ふと、大学時代に生物学実習で小さな港へ行ったことを思い出し調べてみると、一年生の夏にウコの受精を観察した北海道大学忍路臨海実験所でした。山田家正先生の生物学を受講した商大生の間では卒業後も話題に上る思い出の実習です。

当時から歴史を感じるかなり古い建物でしたが、今もそのままの姿で残っていることが嬉しく、美しい忍路湾は私のお気に入りの場所となりました。

## 表紙についてのおしらせ

第66号（平成11年10月発行）より、本誌の表紙に丘美会作品を掲載させていただきましたが、今号をもって終了することになりました。緑丘さっぽろの「顔」として定着し、楽しみにされていた方も多いのではないのでしょうか。誠に残念ですが、数多くの力作をご提供いただいた丘美会の皆様に、心より御礼申し上げます。

次号より表紙が変わりますが、引き続き会員の皆様の作品をご紹介しますと思っています。絵画に限らず、写真や書など、ご自身の作品をご提供いただける方の情報をお待ちしております。

### 亡くなられた会員の皆様

（2022年5月～2022年11月受付）

卒業年	氏名	ご逝去日
昭和20年	笹谷 敏郎	2022年 1月19日
昭和23年	茂木 勝	2022年 1月27日
昭和23年	高橋 久男	2022年 6月 3日
昭和26年	藤井 照市	2022年 7月 8日
昭和28年	和田隆三郎	2022年 8月 2日
昭和30年	眞鍋 四郎	2022年 4月 2日
昭和32年（短）	伊吹 謙二	2022年 2月25日
昭和33年	菊池 行夫	2022年 4月26日
昭和33年	村瀬 喜史	2022年 9月22日
昭和37年	高田 英彦	2021年 9月12日
昭和39年	浜谷 弘之	2022年 6月11日
昭和41年	松本 明	2022年 3月10日
昭和43年	海老名 誠	2022年 9月22日
昭和45年	永田 則人	2022年 5月 7日
昭和47年（短）	菊地 学	2022年 1月 7日

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。（敬称略）

緑丘会札幌支部

電話／FAX：011-231-6900

ホームページ <http://www.ryokyukai.com/>

メール：ryokyukai@galaxy.ocn.ne.jp

月・火・木・金 11:00～15:00

水・土・日・祝は閉室

### 編集後記

私は仕事以外にNPO法人小樽民家再生プロジェクトの理事として活動したり、エバークリーン委員として活動したり、小樽に多く関わっているのですが、いろんなところで商大の先輩の話を伺います。今は小樽にいらっやらない先輩がもちろん多いのですが、小樽にいらっやなくても小樽のことを気にかけて、小樽を応援して下さる先輩の多いことにびっくりします。

小樽のバーで飲んでいたら、たまたま隣になった方とスキーの話。なんとそのバーのオーナーで、商大の先輩でした！2020年1月にオープンした「ワインとチーズと有機野菜の店 雪あかり」です。

現役商大生の経営する「Tug-B（タグビー）」をお借りして、NPOの報告会と交流会をさせていただきました。せっかくなので、宿泊もして、久しぶりの2段ベッドを体験（笑）。そこでも多くの商大の先輩の話を伺いました。

朝里川温泉でいちご農家を始めた「シーズ・アグリ」も小樽愛いっぱい先輩の後ろ盾があります。ウイングベイ小樽のスイーツフェスタも先輩の会社を中心となって、毎年開催されていたりします。

素敵な先輩がいっぱいいますので、卒業生同士の交流の活性化はもちろん、商大生に「緑丘会に入会しよう!」と思ってもらえるように今後も情報発信をしていきたいと思っています。

札幌支部副支部長 山谷智恵子  
（平成9年卒）

### 緑丘会札幌支部は、会員の皆様の会費によって運営されています。

札幌支部では、年会費として3,000円を申し受けております。3年分、5年分とまとめ払いによるお得な割引制度もございます。2022年1月より、ゆうちょ銀行で現金でお支払いの際に手数料が加算されることになりました。よろしければこの機会に口座振替をご検討ください。全国の金融機関をご利用いただくことができます。手続きは書類に記入し、支部に返送するだけで完了します。毎年7月に引落しされ、手数料はかかりません。

お申込み、お問合せは支部事務局へご連絡ください。ご協力よろしくお願い申し上げます。

# 令和5年 緑丘会札幌支部 新年交礼会

2023年 **2月11日** **土**

会場：ホテルポールスター札幌 札幌市中央区北4条西6丁目

開場 12:00 開会 12:30～

会費：7,000円 **2020～2022年卒業の方無料ご招待いたします**

## 国立大学法人北海道国立大学機構 長谷山 彰 理事長

長谷山理事長にご出席いただき  
三大学統合が目指すものについて  
スピーチをいただきます



1952年秋田市生まれ、仙台市育ち  
1975年慶應義塾大学法学部法律学科、1979年同大学文学部史学科を卒業  
1984年慶應義塾大学大学院文学研究科史学専攻博士課程単位取得満期退学  
1987年駿河台大学法学部専任講師、助教授を経て、1994年教授  
1997年慶應義塾大学文学部教授に就任  
その後、学生総合センター長兼学生部長、大学附属研究所斯道文庫長を歴任  
2007年に文学部長、2009年慶應義塾常任理事に就任  
2017年から2021年まで慶應義塾長  
2022年から北海道国立大学機構理事長

## うたごえ便よりみち 出前うたごえ喫茶



石澤 佳子さん  
うたごえ便よりみち  
アコーディオン奏者

アコーディオン弾きの「よっちゃん」こと  
うたごえ便よりみちの石澤佳子さんをお招きして  
楽しいひとときをお過ごしいただけます！

青森県津軽地方出身 小樽商科大学平成7年卒  
大学卒業後文具卸会社に就職したのち、うたごえ喫茶に興味を持ち始めアコーディオンを始める。うたを通して人と人がつながるきっかけをつくりたい、地域に居ながら楽しく暮らすことが大切と考え、町内会・マンションや団地の集会・同窓会・OB会・研修会・高齢者施設・飲食店などでうたごえ喫茶を開催。現在では開催回数2,700回以上、参加者数はのべ90,000名を超える。コロナにめげず活動を続け、自身のYoutube配信なども大好評。2022年、初のオリジナルCDも発売。

OBOG会活動の報告・告知などがありましたら  
スピーチタイムをご用意いたします。  
札幌支部事務局までお問い合わせください。

### ご来場の際のお願い

- 入場時の検温と手指消毒、飲食時以外のマスク着用
- 2日前～当日の欠席については、会費を申し受けます
- 会券はありません、来場時に卒年・氏名をお知らせください

### 感染症拡大が懸念される場合の対応

当日は感染予防に最大限配慮して実施する予定ですが、今後の状況によっては内容変更や中止となる場合もございます。変更や中止につきましては決定次第札幌支部ホームページ等でお知らせいたします。

**お申し込み締切：2023年1月22日(日)**

事前申込の無い当日会場受付はいたしませんので必ず期日までに申込専用WEBページまたはFAX・郵送でお申し込みください

キリトリ線 ✂

## ▼令和5年新年交礼会 参加申込

お名前		
卒業年	大学／短大／大学院／MBA 昭和・平成・令和	年卒
メール		
電話番号		
ご住所	〒	
出身高校		
ゼミ・部・サークル		
ご勤務先		

申込専用WEBページ

<https://www.ryokyukai.com/2023form>



FAX 011-231-6900

郵送 〒060-0005

札幌市中央区北5条西5丁目7  
sapporo55ビル3階  
小樽商科大学札幌サテライト内  
緑丘会札幌支部 宛

※恐れ入りますが通信費・郵送費はご負担ください